

第68回日本臨床視覚電気生理学会イブニングセミナー

網膜と視神経疾患の 違いをイメージしよう!

2020 **9/19** SAT
16:20-17:20 (予定)

ビデオ会議ツール **Zoom**
を使用したライブ配信

当日限定のLive配信形式で開催いたします。
(後日の配信はございません)



第68回日本臨床視覚電気生理学会へのご参加には参加登録が必要です。
2020年8月31日(月)までは事前参加登録料金で登録頂けます。

*9月1日(火)~9月12日(土)は、当日参加登録料金でのご登録となります。
*9月13日(日)以降は、参加登録できません。

座長

中村 誠 先生
(神戸大学)

網膜は中枢神経の一部であり、視神経は網膜神経節細胞の軸索の集まりである。したがって、視神経変性は網膜の機能や構造に影響を与える。しかしながら、網膜実質病変ではないので、検眼鏡的にはパッとわかる所見が見当たらない。よって時に異常なし、と見落とされてしまう。逆に視野や眼底変化から、網膜疾患を疑ってみたものの、実は視神経疾患だったという事例も経験する。どちらも治療法や対処法は、網膜実質疾患とは全く異なるので、その鑑別は重要である。しかし、一般的な視野検査では、病巣が視神経にあるのか網膜にあるのか、必ずしも判然としない場合がある。そうした時に、電気生理学的検査が威力を発揮する。その検査法と読み方を町田先生にご講演頂く。一方、網膜疾患と見誤りやすい視神経疾患を盛先生に供覧頂く。このセミナーを通して、網膜疾患と視神経疾患の違いをイメージして頂けるようになれば幸いである。

講演1

盛 崇太郎 先生
(神戸大学)

網膜疾患と鑑別を要した
視神経疾患

講演2

町田 繁樹 先生
(獨協医科大学埼玉医療センター)

ERGを用いた
網膜神経節細胞の機能評価